

物流担当者の英語道・入門

グローバルビジネスが一層と進展する中で、国際・国内案件を推進する物流事業者/荷主企業は、国際語である英語抜きで案件を進めることは難しく、英語での対応が出来ない物流担当者は生き残れなくなる時が到来するかもしれません。

一方、例えば、SCM(Supply Chain Management)という用語が頻繁に使われていますが、「SCMとは何か！」を英語で説明できる者が身近に何人いるのでしょうか？

近隣アジア諸国(韓国、中国、タイ、シンガポール、フィリピン等)の物流担当者は、少なくとも普通の日本人以上の英語力を持って活躍しています。

物流担当者の英語力を向上させるには何が必要なのか！このセミナーで学んでいただきたいと思えます。皆様のご参加をお待ちしています。

日程・場所

・2016年8月2日(火) 13:00～17:30
(受付 12:30～)

・日本通運本社ビル 4階 会議室C
東京都港区東新橋1-9-3

◆是非、ご参加ください◆

- ・荷主の貿易・ロジスティクス・サプライチェーンに携わる方
- ・国際・国内フォワーダーの営業・オペレーションに携わる方
- ・ロジスティクス英語を含むビジネス英語に挑戦をしたい方

参加料金

・22,000円(税込)
定員50名(最少開催人数20名)

- ・定員になり次第、受付を締め切らせていただきます。
- ・参加料金は開催日前日までにお振込みください。
- ・振込み手数料はお客様ご負担とさせていただきます。

◆キャンセル規定◆

キャンセルの場合は、**7月25日18時**までに事務局にご連絡下さい。それ以降のキャンセルは下記キャンセル料を申し受けます。

- ・7月26日～29日:参加料の**30%**
- ・8月1日及び8月2日:参加料の**全額**

お申込みは弊社Webサイトから

www.nittsu-soken.co.jp/seminar

弊社Webサイトからエントリーを行ってください。
エントリー受付後、セミナーの参加証、および請求書を郵送いたします。

カリキュラム

オリエンテーション

13:00 ~ 13:05

1、物流業の経営力の核は英語力による競争である

13:05 ~ 13:35

- ・2016年のアジア大学の最新ランキングで、シンガポールの大学がトップに立った。なぜかを考えてみたい。

2、国際・国内物流・ロジスティクス・サプライチェーン

英語の定義と範囲

13:35 ~ 14:05

- ・国際貨物の流れ
- ・輸出業務プロセス
- ・輸入業務プロセス

3、主要なプロセスにかかわるロジスティクス英語解説

14:15 ~ 16:20

- ・国際貨物航空輸出入業務プロセス
- ・サプライチェーンプロセス
- ・国際規格 (ISO品質・環境・労働安全衛生・情報など)
- ・物流契約書 (NDA)

4、物流マンの物流英語習得法

16:30 ~ 17:00

- ・物流業の仕事の範囲を広く、深く捉え、関連プロセスと用語を英語で理解する
- ・英語をものにするには、度胸・忍耐と生涯学ぶという姿勢が必要である

5、質疑応答

17:00 ~ 17:30

※カリキュラムは変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

講師プロフィール



宇野 修(うの おさむ)

ロジスティクスバンク 代表

外資系大手航空会社、外資系大手国際フォワーダー、外資系経営コンサルティング会社、外資系ITソフトウェア会社において、営業、マーケティング、リスクマネジメント、統合マネジメントシステム、SCM、国際ロジスティクスソフトウェア顧客開発を経験する。

著書に『国際航空貨物マーケティング』、『「売る」ロジスティクス品質の創造』、『経営改革—まず物流コストを削ぎ落とせ！』

日通総合研究所のプロフィール



1961年(昭和36年)創立の物流・ロジスティクスに関わる総合シンクタンク。高い専門性、豊富な経験、独自のノウハウで、物流・ロジスティクスに関する研究、調査、コンサルテーションを行っている。また、近年は、物流・ロジスティクスに関わる人材の育成・教育事業に力を入れている。

株式会社 日通総合研究所

〒105-8322 東京都港区東新橋1-9-3
TEL:03-6251-3279 FAX:03-6251-6450
事務局担当: 山内